

公益財団法人 武田太加志記念能楽振興財団  
令和3年度 第6期 事業計画(補正予算・年度変更版)

令和3年11月1日～令和4年6月30日

1、能楽公演事業

(1) 花影会 第51回 令和4年4月17日(日) 於)観世能楽堂

(2) 謡初め 令和4年1月4日(火) 於)武田修能館

2、玄人研修事業

(1) 稽古能 コロナの情勢を鑑みて開催を検討 於)武田修能館

(2) 能面・能装束の研修 コロナの情勢を鑑みて開催を検討 於)武田修能館

3、普及啓蒙事業

(1) 学生向けワークショップ

杉並区松溪中学校 於)松溪中学校

※助成金不採択の為、ボランティアで数校行うことを検討

(2) 能+〇〇[茶道] 令和4年3月5日(土) 於)武田修能館

令和4年5月4日(祝・水) 於)武田修能館

(3) 能面講座 令和4年2月12日(土) 於)武田修能館

令和4年4月30日(土) 於)武田修能館

(4) 復興支援事業

熊本地震復興支援事業 能楽講座

1/13(木)嘉島町立嘉島西小学校 6年生 (熊本県上益城郡嘉島町上島 1919-2)

1/14(金)大津町立室小学校 4年生 (熊本県菊池郡大津町室 1825 番地)

4、面装束管理事業

(1) 能面、能装束の貸し出し 随時

(2) 能面、能装束の修繕 随時

(3) 虫干し 年度変更年の為、開催時期(8月)は今年度(R3.11/1～R4.6/30)内に無し

5、修能館管理事業

(1) 武田修能館の貸し出し 随時

(2) 武田修能館の維持管理 随時

その他

公演事業の集客目標を達成出来るよう、コロナ対策も考え、柔軟で積極的な広報宣伝活動に努める。普及啓蒙事業では、能+〇〇、虫干し、能面講座をはじめとする事業の参加者を能楽堂で行う公演へ導くことで能楽鑑賞人口の裾野拡大に寄与する。事業収入、会費、寄付金及び各種助成金の取得による収益構造の定着化を目指す。